



# 新渡戸記念 中野総合病院 だより

Nitobe Memorial Nakano General Hospital

9月号

令和5年9月1日号  
411号

## 理念

新渡戸稲造博士の精神(誠意と  
思いやりの心)を基にした医療  
を誠実に実践し、疾病を抱えた  
人を真心で支援する

## 基本方針

- ① 安全で質の高い医療の推進
- ② 急性期医療の充実
- ③ 地域医療の拡充と  
地域医療連携の強化
- ④ 臨床研修指定病院としての機能の充実
- ⑤ 災害時医療の拠点病院としての機能の充実
- ⑥ 職員の教養・知識・技術の向上と待遇改善
- ⑦ 経営の安定化

## 新しい形のチーム医療の実践を目指して

外科 医長 中野 雄高

本年4月より赴任いたしました外科の中野と申します。今後皆様方のお役に立てるよう精進して参りたいと思っております。よろしく願いいたします。

私は医師免許を取得し20年弱になります。消化器外科医として修練を積んで参りましたが、特に食道疾患を専門としております。食道は首から腹部までの長い臓器です。その手術の際には腹部のみならず、頸部や胸部といった場所に及びます。手術の際は頭頸部外科や胸部外科の医師と連携が必要なことも少なくありません。

食道疾患のほとんどは食道癌です。食道癌は術前補助化学療法の有効性が確立しております。さらに消化器癌の中では放射線療法が有効なことが多いという特徴もあります。そのため食道癌診療においては化学療法科の医師・薬剤師や放射線科の医師・技師とも同時に診療を行う場面が多くあります。

先述の通り食道疾患の手術は身体の広範に及ぶため、特に術後の管理がその後の治療に大きく影響します。外科医はもちろんのこと、術直後の治療には看護師や理学療法士といったスタッフの役割が大きいです。食道疾患の術後は身体にかかる負担も大きく、術後のリハビリテーションが

必須です。また食べ物の通り道を作り変えてしまうので、栄養士による管理や嚥下訓練なども必要になってきます。

食道疾患の治療においては手術だけで治療が終了するものではありません。他科の医師やその他多くのスタッフの支えや連携があって初めて患者様にとって良い診療が提供できるものと考えております。チーム医療の重要性を日々実感しながら診療にあたる毎日です。

さて、チーム医療というと多職種の医療従事者が一人の患者さんに関わるものと考えられております。しかし私は日々の診療を通して、患者様やそのご家族様も含めてチームと考える必要があるように感じております。医療の進歩により様々な治療方法が確立していますが、一方でそれらを選択しなければなりません。その際には患者様やご家族様のご意見がとても大切なのです。

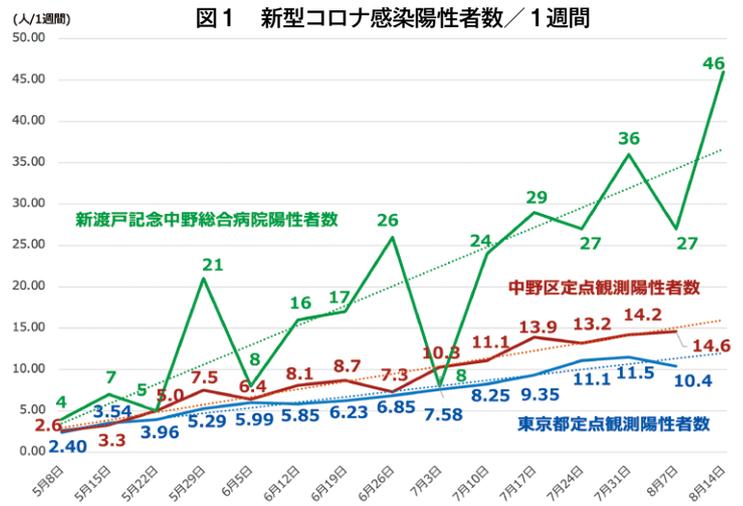
ご病気に関して出来るだけ分かり易く説明をさせていただき、十分にご理解いただいた上で、お身体への負担が少なく、病気の状態や体力に応じた最善の治療方法を患者様と一緒に考えて参りたいと思います。いつでもご遠慮なくご相談ください。今後とも何卒よろしく願いいたします。



# 新型コロナ感染症が増加しています

2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は「指定感染症」からインフルエンザと同じ「5類感染症」へ移行となりましたが、ウイルスはいなくなったわけではなく変異を繰り返し、現在はXBB系統が91%を占めています。

新型コロナ感染症の発生数は定点報告となったために感染状況を把握しにくくなっていますが、当院で検査した抗原定性検査での陽性者は増加傾向で、東京都と中野区の定点報告を上回る結果となっています(図1)。国立感染症研究所の報告では入院患者数は年初からは大きく減少しているようですが、厚生労働省の情報通信基盤センター(G-MIS)における入院患者数7日間平均は7月以降「増加傾向」にあり、当院の新型コロナ感染症患者の入院も増加しています(図2)。病院は抵抗力の弱っている方が多く集まる場所です。院内に入りましたら必ず「マスクの着用」をお願いします。



## 検査まめ知識

### 全血球測定装置を更新します

中央検査科 技師長 須藤 淳二

全血球測定装置は血算(CBC:Complete Blood Count)を測定する機器です。CBCは赤血球数、ヘモグロビン濃度、ヘマトクリット値、平均赤血球容積(MCV)、平均赤血球血色素量(MCH)、平均赤血球血色素濃度(MCHC)、白血球数、血小板数、の8項目です。ヘモグロビンは赤血球の内部で鉄(ヘム)とタンパク質(グロビン)が結合した赤色素タンパク質のことで、ヘマトクリット値は血液中に占める赤血球の全容積の割合を示す数値です。MCV、MCH、MCHCは赤血球の状態を計算により算出した値で、貧血の原因を鑑別する際に大変有用な指標となります。

全血球測定装置が導入される前は、すべての血球

計数検査(赤血球数・白血球数・血小板数)をメランジュールと呼ばれるピペットと計算盤を用い顕微鏡下で目視してカウントしていました。現在では必要に応じて目視し、機械値と相違ないかを確認しています。Wallace H Coulterが1940年代後半に「粒子が細孔を通過した時に電気抵抗が変化し、その変化の大きさが粒子体積に比例する。」というコールター原理を発見し、血球計数検査の自動化がはじまりました。日本では1963年にシスメックス社(当時は東亜医用電子)が自動化に成功し、現在この日本メーカーが世界シェア1位となっています。

9月に当院の全血球測定装置が更新となります。これからも「迅速で正確な結果」を報告いたします。

# 病院からのお知らせ

## 第4回 区民健康講座 動画配信のお知らせ

当院は地域の皆様の健康保持・増進のために健康講座の動画を当院ホームページで配信しています。第4回は2023年9月1日(金)より配信いたします。是非ご視聴ください。

今回のテーマ 「より良い睡眠のために」 精神神経科部長 塩入 明子

### 医師就任のお知らせ

2023年9月1日より、皮膚科 大竹 里奈 医師が着任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

### 医師退職のお知らせ

2023年9月30日をもって、整形外科 玉谷 育庸 医師と放射線科 島田 雅之 医師の2名が退職となります。新しい職場での更なるご活躍をお祈り申し上げます。

人気メニューのレシピをご紹介します!

## 栄養科 病院食通信 22



### 【豚肉の胡麻だれかけ】

豚肉の胡麻だれかけは、調理が簡単で、かつ野菜とたんぱく質を共に補えるため、夏バテの体力回復にお勧めの献立です。豚肉には疲労回復の効果があるビタミンB1が多く含まれています。また、葱の独特な匂いの成分である硫化アリル(アリシン)にはビタミンB1の吸収、活性化を促進する効果があり、豚肉と一緒に摂ることで効率的に吸収できます。

#### 材料 (1人前)

豚肩ローススライス 60g  
レタス…………… 20g  
長葱…………… 10g  
かいわれ大根…………… 5g

#### 〈たれ〉

白胡麻…………… 2g  
練り胡麻…………… 3g  
醤油…………… 6g  
酢…………… 5g  
① ごま油…………… 1g  
豆板醤…………… 0.2g  
おろし生姜…………… 1g  
おろしんにんにく 1g

#### 調理方法

- ① 白胡麻はすり、①の調味料と合わせる
- ② 豚肉は茹で、流水でアクを取ったら常温で粗熱をとる
- ③ レタスは約1.5cm×4cmの短冊に切り、かいわれ大根は2等分に切る。長葱は縦に半分に切り、斜め薄切りにする
- ④ ③を豚肉の上に乗せ、①の調味料をかけて完成

#### 栄養成分表示 (1食あたり)

エネルギー 212kcal / たんぱく質 12.2g / 脂質 15.3g / 炭水化物 7.0g (食物繊維 1.3g) / 食塩相当量 1.0g

## 「がん哲学外来」のご案内

当生協「新渡戸稲造記念センター」の樋野興夫センター長が全国に展開している「がん哲学外来」が当院でも開設されています。「がん哲学外来」は「がん」にまつわる様々な悩みを樋野興夫センター長との対話を通して解消する外来です。東京医療生活協同組合の組合員(ご家族)の方ならどなたでも無料で予約できます。

お電話で予約申し込みを受け付けています

電話 03-3382-1507  
9時～16時30分(日曜、祝日を除く)

開催予定日 9/5(火)、9/11(月)、9/12(火)  
9/13(水)、9/25(月)  
1回約50分(1日4組まで)

## ご意見をお寄せください

東京医療生活協同組合は、皆様のご意見を当生協の運営に活用させていただいております。皆様のご意見は右記宛先までお送りいただきますようお願いいたします。なお、ご意見をお送りいただきます際には、ご氏名に加えて必ず組合員番号(組合員証に第〇〇〇〇〇〇号と記載されています)をご記入いただきますようお願いいたします。

宛先

東京医療生活協同組合 渉外・広報課

住所 〒164-8607  
中野区中央四丁目59番16号

メール syougai@nakanosogo.or.jp

FAX 03-3381-4799

## 新渡戸 の 言葉

台風7号が過ぎて秋風が吹き始めた頃、改めて新型コロナ(第9波)の凄まじい感染力に絶句しています。世界中の生活を一変させたCOVID-19が医学史上に刻まれて3年8ヶ月、はからずも、78年前終戦を迎えた日本が太平洋戦争を戦った歳月の流れを体感しましたが、眼に見えぬウイルスとの闘いは今も続いています。

百年前の1923(大正12)年9月1日正午近く、東京は関東大震災で焼け野原となりインフラが壊滅しました。首都東京を復興させる羅針盤となったのが、新渡戸 稲造博士と同郷(岩手)の医師・後藤 新平氏でした。今月の言葉は、災害時の焼け野原を目の前にして無心に尽くす医の原点をも表していると思います。医療の原点でもある“手あて”は歌にもなっています。

映画「ナースコール」～わたしたちは天使じゃない～の主題歌「コール」(須藤 晃 作詞 玉置 浩二 作曲・唄)を思い出します。映画にある医療現場は30年の時の流れで様々に変わりましたが、心の姿は変わらないことを知りました。

『武士道』出版後間もない新渡戸博士は、5歳年上の後藤 新平氏に三顧の礼で台湾へ招かれ、農学博士として現地で製糖業の発展に尽力し台湾の経済的自立へと導きました。新渡戸 稲造博士は後藤 新平伯爵と生涯にわたり親交を深めています。

新渡戸記念中野総合病院副院長 山根 道雄



先にもお話しした通り、自分の心に省み良心に質して、正しいと思へば何処迄も遣る、といふ事である。根本は心である。心が正義とし、是なりと信ずる所を行ふ。

『人生雑感』 「友会徒の生活」

新渡戸 稲造